

《履修上の留意事項》社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験を受験予定の者は必ず履修すること。

《担当者名》 宮本 雅央 m-miyamoto@hoku-iryo-u.ac.jp ○鈴木 和 志水 幸 橋本 菊次郎 福間 麻紀 守田 玲菜 巻 康弘 池森 康裕 近藤 尚也 高橋 由紀 片山 寛信 大友 芳恵（非） 大室 秀幸（非） 川勾 亜紀奈（非） 篠原辰二（非） 松本 剛一（非） （主担当、○副担当）

#### 【概要】

この講義では、社会福祉学における基幹科目について、その基本的意義や要点等について、再度総括的に概説する。

#### 【学修目標】

これまでの学習内容のうち、自らの理解が不十分であった箇所を点検し、それらを補充することができる。  
社会福祉専門職として必要な学力・総合力を身に付けることができる。

#### 【学修内容】

| 回 | テーマ                   | 授業内容および学修課題                                                                                                | 担当者         |
|---|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1 | オリエンテーション<br>社会福祉士法制度 | オリエンテーション<br>社会福祉士法改正および社会福祉士を取り巻く環境から必要な学習内容について学ぶ。                                                       | 宮本、高橋、片山、鈴木 |
| 2 | 医学概論                  | ライフステージにおける心身の変化と健康課題<br>健康及び疾病の捉え方<br>身体構造と心身機能<br>疾病と障害の成り立ち及び回復過程<br>公衆衛生                               | 守田          |
| 3 | 心理学と心理的支援             | 心理学の視点<br>人の心の基本的な仕組みと機能<br>人の心の発達過程<br>日常生活と心の健康<br>心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本                              | 大室          |
| 4 | 社会学と社会システム            | 社会学の視点<br>社会構造と変動<br>市民社会と公共性<br>生活と人生<br>自己と他者                                                            | 大室          |
| 5 | 社会福祉の原理と政策            | 社会福祉の原理<br>社会福祉の歴史<br>社会福祉の思想・哲学、理論<br>社会問題と社会構造<br>福祉施策の基本的な視点                                            | 志水          |
| 6 | 社会福祉の原理と政策            | 福祉政策におけるニーズと資源<br>福祉政策の構成要素と過程<br>福祉政策の動向と課題<br>福祉政策と関連施策<br>福祉サービスの供給と利用過程<br>福祉政策の国際比較                   | 志水          |
| 7 | 障害者福祉                 | 障害概念と特性<br>障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境<br>障害者福祉の歴史<br>障害者に対する法制度<br>障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割<br>障害者と家族等に対する支援の実践 | 近藤          |
| 8 | 社会福祉士法制度              | 社会福祉士法改正および社会福祉士を取り巻く環境から必要な学習内容について学ぶ。                                                                    | 宮本、高橋、片山、鈴木 |

| 回  | テーマ             | 授業内容および学修課題                                                                                                             | 担当者         |
|----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 9  | 地域福祉と包括的支援体制    | 地域福祉の基本的な考え方<br>福祉行財政システム<br>福祉計画の意義と種類、策定と運用<br>地域社会の変化と多様性・複雑化した地域生活課題                                                | 宮本          |
| 10 | 地域福祉と包括的支援体制    | 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制<br>地域共生社会の実現に向けた他機関協働<br>災害時における総合的かつ包括的な支援体制<br>地域福祉と包括的支援体制の課題と展望                                | 宮本          |
| 11 | ソーシャルワークの基盤と専門職 | 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ<br>ソーシャルワークの概念<br>ソーシャルワークの基盤となる考え方<br>ソーシャルワークの形成過程<br>ソーシャルワークの倫理                              | 志水          |
| 12 | 社会福祉調査の基礎       | 社会福祉調査の意義と目的<br>社会福祉調査における倫理と個人情報保護<br>社会福祉調査のデザイン 量的調査の方法<br>質的調査の方法<br>ソーシャルワークにおける評価                                 | 宮本          |
| 13 | ソーシャルワークの理論と方法  | 人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メ<br>ゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク<br>ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ<br>ソーシャルワークの過程<br>ソーシャルワークの記録                    | 福間          |
| 14 | ソーシャルワークの理論と方法  | ケアマネジメント<br>集団を活用した支援<br>コミュニティーワーク<br>スーパービジョンとコンサルテーション                                                               | 福間          |
| 15 | まとめ             | これまで（前期）の学習の達成状況について各自で確<br>認する。                                                                                        | 宮本、高橋、片山、鈴木 |
| 16 | まとめ             | まとめ で得た、自身の学習の達成状況から、前期内<br>容の復習を行う。                                                                                    | 宮本、高橋、片山、鈴木 |
| 17 | 社会保障            | 社会保障制度<br>社会保障の概念や対象及びその理念<br>社会保障と財政<br>社会保険と社会扶助の関係                                                                   | 川勾          |
| 18 | 社会保障            | 公的保険制度と民間保険制度の関係<br>社会保障制度の体系<br>諸外国における社会保障制度                                                                          | 川勾          |
| 19 | 高齢者福祉           | 高齢者の定義と特性<br>高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境<br>高齢者福祉の歴史<br>高齢者に対する法制度<br>高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の<br>役割<br>高齢者と家族等に対する支援の実際        | 池森          |
| 20 | 児童・家庭福祉         | 児童・家庭の定義と権利<br>児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境<br>児童・家庭福祉の歴史<br>児童・家庭に対する法制度<br>児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職<br>の役割<br>児童・家庭に対する支援の実際 | 片山          |
| 21 | 貧困に対する支援        | 貧困の概念<br>貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会<br>環境<br>貧困の歴史<br>貧困に対する法制度                                                            | 大友          |

| 回  | テーマ                 | 授業内容および学修課題                                                                            | 担当者 |
|----|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|
|    |                     | 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割<br>貧困に対する支援の実際                                                 |     |
| 22 | 保健医療と福祉             | 保険医療の動向<br>保健医療に係る政策・制度・サービスの概要<br>保健医療に係る倫理<br>保健医療領域における専門職の役割と連携<br>保健医療領域における支援の実際 | 巻   |
| 23 | ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） | ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲<br>ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク<br>総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容           | 橋本  |
| 24 | 福祉サービスの組織と経営        | 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割<br>福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論<br>福祉サービス提供組織の経営と実際<br>福祉人材のマネジメント         | 松本  |
| 25 | ソーシャルワークの理論と方法（専門）  | ソーシャルワークにおける援助関係の形成<br>ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発<br>ネットワークの形成                          | 篠原  |
| 26 | ソーシャルワークの理論と方法（専門）  | ソーシャルワークに関連する方法<br>カンファレンス<br>事例分析<br>ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際                       | 篠原  |
| 27 | 権利擁護を支える法制度         | 法の基礎<br>ソーシャルワークと法の関わり<br>権利擁護の意義と支える仕組み                                               | 大室  |
| 28 | 刑事司法と福祉             | 刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境<br>刑事司法<br>少年司法<br>更生保護制度<br>医療観察制度<br>犯罪被害者支援               | 橋本  |
| 29 | まとめ                 | これまで（後期）の学習の達成状況について各自で確認する。                                                           | 守田  |
| 30 | まとめ                 | まとめ（も含）で得た、自身の学習の達成状況から、後期（前期も含）内容の復習を行う。                                              | 守田  |

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

試験は前期（25点満点）・後期（25点満点）それぞれに実施する。

通年期末テスト（50点満点）を行い、すべての合算点数が成績となる。

各試験において6割未満の学生は再試を実施する。

#### 【教科書】

（編）社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック2026【共通科目編】』

（編）社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会『社会福祉士国家試験受験ワークブック2026【専門科目編】』中央法規  
『社会福祉士国家試験のためのレビューブック2026』メディックメディア

は2025年6月発行見込み、 は2025年4月下旬発行見込み。購入についてはガイダンス時に説明する。

#### 【参考書】

（一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『2026年社会福祉士国家試験過去問題解説集』（中央法規）などの社会福祉士国家試験過去問題集を準備し取り組むこと。

その他、必要がある場合には、適宜紹介する。

【学修の準備】

- ・該当科目の講義前には、教科書、参考書、ワークブック等で事前学習をしてから講義にのぞむこと（2時間）。
- ・講義内容の知識の定着を図るため、事後学習に取り組むこと（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

守田玲菜（医師）、橋本菊次郎（精神保健福祉士）、巻康弘（社会福祉士）、福間麻紀（社会福祉士）、宮本雅央（社会福祉士）、池森 康裕（介護福祉士）、近藤尚也（社会福祉士）、高橋由紀（介護福祉士）、片山寛信（社会福祉士）、鈴木和（精神保健福祉士）、大友芳恵（社会福祉士）、川勾亜紀奈（社会福祉士）、篠原辰二（社会福祉士）、松本剛一（社会福祉法人役員）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ソーシャルワーカーとしての実践経験、国家試験の受験勉強も含めた学習経験をふまえ、社会福祉の歴史、法制度やサービスの概要・課題等について講義する。